



校長室だより

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R5,11,24 No,19

八代小ホームページ

現地で学ぶ深い学び

6年生は、11月5日・6日の2日間、長崎県へ修学旅行に行ってきました。

1日目は、長崎さるくガイドの方の説明のもと、長崎市内の平和公園や爆心地、原爆資料館等を巡るフィールドワークを通して、平和学習を行いました。気温が30度近くまで上がり、秋とは思えないほど暑くなりましたが、子供たちは黙々と歩いて、現地でしか学べない貴重な体験をしました。2日目は、佐世保市にあるハウステンボスで楽しいひとときを過ごしました。あいにくの風雨の中ではありますが、班の仲間と協力しながら予定していたアトラクションなどを楽しそうに巡っていました。

また、3年生は、11月6日に「八代青果市場」や「JA やつしろ南部トマト選果場」、「片山蒲鉾店」、「ヤマハプロダクツ」などを巡る社会科見学旅行に行ってきました。

4年生は、11月17日に「石匠館」や「通潤橋」、「清和文楽館」などを巡る社会科見学旅行に行ってきました。

どの学年の子供たちも現地で実際に見聞きした学習は、深い学びになったことと思います。今後、学んだことをしっかりまとめ、次の学習につなげていってほしいです。



平和集会中の六年生



ガイドの話聴く六年生



青果市場見学中の三年生



通潤橋へ向かう四年生

「いじめ（差別）を本気でなくそう」 ～人権月間の取組～

本校では、11月を「人権月間」と位置づけ、「本音を語り、互いの気持ちに寄り添える仲間づくりと人間関係づくり」をテーマに人権教育を重点的に推進しています。

内容は、各学級で行う人権学習やそれを基に各学年部で行う人権集会（県子供人権集会の動画視聴含む）、白鳥っ子集会での運営委員の子供たちによる取組、全校集会での人権に係る校長講話等です。

運営委員の子供たちによる取組では、よりよい仲間づくりをテーマにしたロールプレイ（役割演技）を通して、気持ちの良い言葉かけについて全児童に投げかけていました。また、各委員会による人権に係る取組の披露もありました。

校長講話では、本校でも人権を傷つける大きな問題となっている「いじめ」の未然防止と完全解消をねらい、「天国と地獄の長い箸」という物語を通して、「人間関係づくりでは、自分のことばかりではなく、相手のことを思いやる優しさが大切さ」であることを知らせ、「一人一人が本気でいじめと闘おう」と話しました。

「いじめ」は、様々なストレスのはけ口として行われたり、誰かに認められたい、褒められたいという自尊心から行われたりするものです。その解消のためには、家庭や地域社会、学校の大人が、子供をまるごと受け止め、愛情を注ぎ、ストレスを軽減させたり、自己肯定感や自己有用感、相手を思いやる心を育んだりすることが必要だと思えます。具体的には次のような行為が考えられます。子供との接し方の参考になれば幸いです。

- ・(大人が) 子供の話を目を見て聴き、共感する。
- ・(大人が) 子供の話や行為を認め・褒める。
- ・(大人が) 「ありがとう」や「ごめんなさい」を率先して言う。
- ・(大人が) 挨拶や返事を率先して言う。
- ・(大人が) 子供の成長に合わせて役割をもたせる。